



## 園主からの挨拶

新型コロナウイルスについて ～憂星～

人類史上、疫病はどの時代にも存在し、前回のパンデミック、スペイン風邪では世界で最大5000万人の死者を出しており、人間にとって疫病とは生命を脅かす最大の脅威の一つと言えるでしょう。しかしまた疫病とは超自然な出来事であるとも言えます。この新型コロナウイルスが人為的（経済戦略的）なものであっても偶発的なものであっても、人類が自然の一部という意識があればこのウイルスの爆発的な蔓延も100年に一度は起こり得る一つの自然現象と考えられるはずです。

私はこのウイルスは敵であるとも味方であるとも考えていません。私は今回のこの新型コロナウイルスは地球自然からのメッセージだと認識しております。そして今までの疫病も地球自然からの何かしらの警笛であったと感じます。ただ今回の伝染病で現代に生きる人間がはっきりと確認しなければいけないと感じることは「地球との関わり方」だと思っています。私の中ではこの疫病の原因の中核は、それはいずれにしても、お金と権力が善とする根底意識を持つ人間と、急速に進歩し発展し続けているテクノロジーがこの事態を招いたのだと結論付けております。グローバルにお金と権力とテクノロジーが、流れ、生まれ、発展した結果、それを物理的に受け止める地球自然が今の人類のやり方ではもう無理だと語っているのではないのでしょうか。地球機能的に、もはやこの星にはそれらを包括的に許容する能力はないのだと。「人の欲望にも切りがある」という地球からの教えではないのでしょうか。

私は人の欲望は正しいことだとも認識しています。また科学や技術の発展は人の持つ根源的な渴望だと感じています。それらがなければ種の継続もありえなし、驚きや感動する新しい心も狭められてしまいます。ただ今私たちは地球に「人の欲望にどう見切りをつけ、真の進歩とは何なのか」問われているのだと思います。そしてそれと同時にこの母なる星の機能をもっと深く理解し、大抵は平和をもたらしてくれるこの星を愛しているんだという意識を表現することが重要だと感じます。このウイルスの影響下、保身でなく、競争でなく、人それぞれが持つオリジナリティを認め合い、そして何にどのように寄り添うのかを現実的に求められているのだと思います。

人間社会の混乱とは相反して、自然は少し安堵しているように感じます。ここ山形にいても空気が澄んでいることを実感します。この星の行方をも左右する力を持った我々は今、節度ある実行と共に、その心に風を吹かせ、全ての対象に安らかな祈りを捧げる務めがあるのではないのでしょうか？

今日、この日もこの様な状況下で頑張っている人、困難や困窮に苦しんでいる人、そのすべての人にエールを送ります。

「がんばれ～ ふんばれ～ 楽しめ～！！！」

白雲も状況悪いです。余裕のある方ご注文お待ちしております！

また余裕がなくともご注文をしてくださるお客様、本当にありがとうございます。心より感謝いたしております。

1  
祈

2020年4月吉日

白雲 園主 松藤博人